

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年6月29日(2006.6.29)

【公開番号】特開2005-284367(P2005-284367A)

【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)

【年通号数】公開・登録公報2005-040

【出願番号】特願2004-93118(P2004-93118)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 T 7/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/76 (2006.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

G 0 6 F 17/30 3 1 0 C

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

H 0 4 N 5/76 B

H 0 4 N 5/91 P

【手続補正書】

【提出日】平成18年5月16日(2006.5.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項6】

コンテンツが収納された、外観から識別可能な収納媒体を撮影する撮影手段と、
前記撮影手段によって得られた撮影画像データを前記収納媒体の識別情報として取得する取得手段と、
前記収納媒体の識別情報と前記コンテンツに対応するコンテンツデータとを関連付けて記憶する記憶手段と、
前記コンテンツデータによって、前記コンテンツを再生表示する再生表示手段と、
前記再生表示手段に再生表示された前記コンテンツからコンテンツを指定する指定手段と、
前記指定手段によって指定された前記コンテンツのコンテンツデータを用いて前記記憶手段を検索して、前記指定された前記コンテンツのコンテンツデータと合致する前記コンテンツデータを検出する検出手段と、
前記検出手段によって検出された前記コンテンツデータと関連付けられて記憶されている前記収納媒体の識別情報を前記記憶手段から読み出す読出手段と、
前記読出手段によって読み出された前記収納媒体の識別情報によって、前記収納媒体の撮影画像を再生表示する画像表示手段と、を有するコンテンツ表示システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0059

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0059】

次に、図2(B)を参照して、記録媒体Mの記録内容の参照時における、コンテンツ表

示システム 10a の作用について説明する。

記録媒体 M_t に記録された内容（コンテンツ C_t ）を参照したい場合には、まず、参照したい記録媒体 M_t の外観の少なくともラベル L_t を含む部分が、携帯機器 16 によって撮影され、記録処理情報 D_{1_t}' としてホームサーバ 12 に伝送される。制御部 20 では、携帯機器 16 から伝送された記録処理情報 D_{1_t}' から、ラベル L_t にプリントされたコードや文字等の認識が行われ、得られたコード／文字認識結果データと、記憶部 18 に記憶されている記録処理情報 D_1 群とが比較されて、記録処理情報 D_{1_t}' のコード／文字認識結果データに該当する記録処理情報 D_1 （すなわち D_{1_t} ）が検出される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0094

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0094】

ホームサーバ 12 の記憶部 18 には、既に、複数のコンテンツ概要データ I 、記録処理情報 D_1 および記録媒体 M の識別情報 D_2 のデータが蓄積されているものとする。

記録媒体 M の探索時には、ユーザによる指示入力手段 44 から、コンテンツ概要の表示を指示する指示入力が行われることにより、ホームサーバ 12 のモニタ 42 に、記憶部 18 に記憶されているコンテンツ概要データ I 群が一覧表示される。次に、指示入力手段 44 によって特定のコンテンツ C_t の概要データ I_t が指定されると、制御部 20 は、そのコンテンツ概要データ I_t と対応する記録処理情報 D_{1_t} を記憶部 18 から検出し、記録処理情報 D_{1_t} とセットにされている識別情報 D_{2_t} を読み出して、携帯機器 16 に伝送する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0097

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0097】

携帯機器 16 の表示部 46 には、撮影された記録媒体 M_1 、 M_2 、 M_t の撮影シーン中に、目的とする記録媒体 M_t と合致することを示すマークを合成表示する。例えば、表示部 46 に、記録媒体 M_1 、 M_2 、 M_t の各撮影画像が順次表示される場合には、目的の記録媒体 M_t が表示されたときに、合致を示すマークが表示されるか音声等で通知されればよい。また、図 7（A）に示すように、表示部 46 に表示された複数の記録媒体 M_1 、 M_2 、 M_t のうち、合致するものにマークが表示されてもよい。また、図 7（B）に示すように、棚に並べてある複数の記録媒体 M が一括して撮影された場合などには、その画像中の合致する記録媒体 M_t に矢印や囲みのマーク等が表示されればよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0102

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0102】

したがって、上記の例のように、特定のコンテンツ C_t のコンテンツ概要データ I_t が指定されると、ホームサーバ 12 の制御部 20 では、このコンテンツ概要データ I_t に対応する記録処理情報 D_{1_t} が記憶部 18 から検出され、一方、携帯機器 16 によって、記録媒体 M_1 、 M_2 、 M_t 等のラベル L_1 、 L_2 、 L_t 等が撮影されることにより記録処理情報 D_{1_1}' 、 D_{1_2}' 、 D_{1_t}' 等が得られて、記録処理情報 D_{1_1} 、 D_{1_2} 、 D_{1_t} 等が取得される。そして、ホームサーバ 12 の制御部 20 または携帯機器 16 の制御部 26 において、画像認識（パターンマッチング）が行われることにより、記録処理情報 D_{1_t} と合致するラベル L_t を有する記録媒体 M_t が検出される。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

図12は、コンテンツ表示システム50において、新たなプリントA₄がプリンタ54から出力され、既にプリントA₁～A₃が収納されている収納ファイルBに新たなプリントA₄が追加される場合の、収納ファイルBの登録方法を示している。

図12(A)に示すように、プリントA₄が出力されると、記録処理情報D₁₂が生成されて記憶部58に記憶される。また、プリンタ54から出力されたプリントA₄が、既にプリントA₁～A₃が収納されている収納ファイルB₁に収納されると、図12(B)に示すように、携帯機器56によって収納ファイルB₁が撮影されて、その識別情報D₂₁がプリンタサーバ52に伝送される。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0120

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0120】

プリンタサーバ52の制御部60は、収納ファイルB₁の識別情報D₂₁を受信し、この識別情報D₂₁が既に記憶部58に記憶されている識別情報D₂₁と合致することを認識すると、画像データD(A₄)の記録処理情報D₁₂と画像データD(A₁)～D(A₃)の記録処理情報D₁₁との両方が、識別情報D₂₁とセットとされて、記憶部58に記憶される。これにより、収納ファイルB₁の識別情報D₂₁とプリントA₁～A₄の画像データが関連付けられて記憶される。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0128

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0128】

携帯機器56においては、プリンタサーバ52から送られた収納ファイルの識別情報D_{2t}を、その表示部に単に表示してもよいし、探索対象となる複数の収納ファイルBを携帯機器56によって撮影し、携帯機器56またはプリンタサーバ52において画像認識(パターンマッチング)を行うことにより、携帯機器56によって撮影された複数の収納ファイルBのうち、目的の収納ファイルB_tに合致するものを検出して、携帯機器56の表示部またはプリンタサーバ52のモニタに、目的の収納ファイルB_tが区別されるように表示してもよい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0133

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0133】

収納ケースF₁に物品E₄が追加されるときは、図15(B)に示すように、収納ケースF₁の撮影画像データD(F₁)と、追加される物品E₄の画像データD(E₄)とが、携帯機器86によって取得され、ホームサーバ82に伝送される。

ホームサーバ82では、撮影画像データD(F₁)が、記憶部88に既に記憶されている撮影画像データD(F₁)と合致することを認識し、撮影画像データD(E₄)を、既に

影画像データ $D(F_1)$ に関連付けて記憶されている撮影画像データ $D(E_1) \sim D(E_3)$)とセットにして記憶する。

【手続補正10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0134

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0134】

収納ケース F_1 から、物品 E_4 が抜き出されるときは、携帯機器86またはホームサーバ82で、削除モードに設定された状態で、図15(C)に示すように、収納ケース F_1 の撮影画像データ $D(F_1)$ と、抜き出される物品 E_4 の画像データ $D(E_4)$ とが、携帯機器86によって取得され、ホームサーバ82に伝送される。

ホームサーバ82では、削除モードで撮影画像データ $D(F_1)$ を受信することにより、削除対象が撮影画像データ $D(F_1)$ であることを認識し、続いて受信した画像データ $D(E_4)$ に合致する画像データ $D(E)$ を撮影画像データ $D(F_1)$ の関連データの中から検出して、該当データを削除する。

【手続補正11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0137

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0137】

また、物品 E_t が手元に無く、物品 E_t が収納されている収納ケース F_t を探索したい場合には、その探索および探索結果の表示は、上述の図6～図9に示して説明した方法と同様の方法により行うことができる。すなわち、ホームサーバ82の記憶部88に記憶されている物品E群を、携帯機器86またはホームサーバ82に接続されたモニタ（図示しない）に表示し、ユーザによって物品 E_{+} が指定されることによって、その物品 E_t の撮影画像データ $D(E_t)$ を基にホームサーバ82において検索を行い、検索結果として、該当する収納ケース F_t の撮影画像を携帯機器86またはホームサーバ82のモニタに、他の収納ケースFと識別できるように表示するようにすればよい。

【手続補正12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0139

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0139】

以上のように、本発明の第7の実施形態によれば、収納ケースを撮影することで、その収納ケースに収納された物品の内容を確認できる。また、物品を撮影またはホームサーバ82において選択することで、その物品がどの収納ケースに収納されているかを簡単に知ることができる。また、同一の収納ケースへの物品の追加や取り出しにも簡単な操作で対応できるので、物品の収納管理を簡単かつ正確に行うことができる。

【手続補正13】

【補正対象書類名】図面

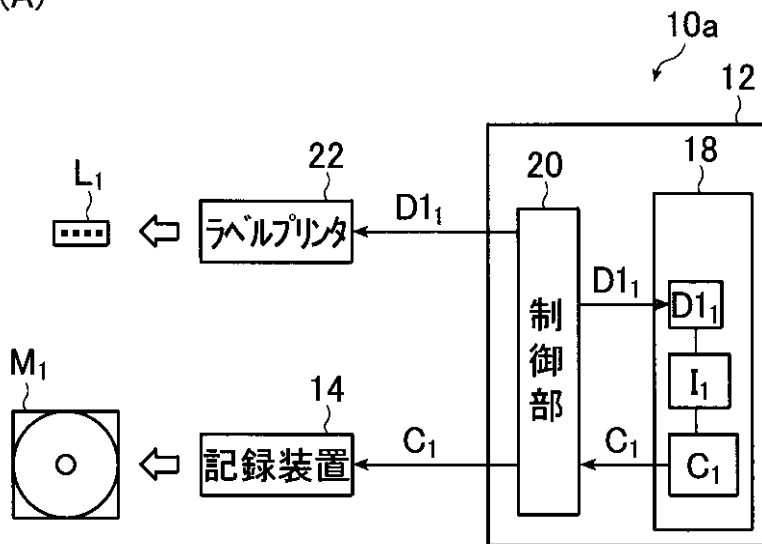
【補正対象項目名】図2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2】

(A)



(B)

